

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
16年8月8日

全国の事務局員が一堂に集った

事務局員交流会

七月二七・二八日全国二カ所に分かれて開催された全商連事務局員交流会の山形天童会場に新潟民商事務局は参加し、全国の仲間三六〇名と交流してきました。

一日目、情勢と地域振興の運動について岡田知弘・京都大学教授の講演があり、情勢や地域づくりについて整理された話を聞き大変参考になりました。

その後、四つの民商によるパネルディスカッションが行われ、真剣な努力に多くの質問が寄せられました。とにかく役員・会員主人公の運動めざし方針・原則を貫い

日程

- 八月八日 市産業政策課と懇談
- 八月九日 民主県政の会学習会
共済会三役・理事会
- 八月一三日～一六日 事務所のお盆休みです
- 八月一七日 拡大推進委員会

た活動報告が感銘を与えました。二日目は分散会と全体会を行い終了となりました。

■真剣な交流会の様子を自分の民商の役員に見せてやりたい

石塚全商連副会長の閉会挨拶

業者は、情勢など正確に見ることが難しいこともありますが。事務局員など様々は人から知恵を頂くことができます。民商に入っているからできることです。深く見たり、適切な判断、仲間の目耳、頭脳を組織する組織者としての事務局の役割は素晴らしいものです。今日こうして真剣に交流する事務局の姿を、自分の民商の仲間に見せてやりたいと思います。

全商連事務局員交流会

に参加して

中村 克大

この度、山形県天童市で開催された【全商連事務局交流会】に七月二七日から一泊で参加してきました。

一日目のパネルディスカッションにパネラーとして出席していた、岩手一関民商の山口事務局長の発言には感心すると共に大きな力を頂いたので、ここで紹介したいと思います。

一関民商は事務局が一名の民商です。会員数が右肩下がりで減っていました。〇八年に三役・事務局で話し合い「事務局を中心とした組織改革」を打ち出したそうです。ところが事務局だけが頑張っても、「民商〓事務局」「運動は事務局がするもの」との誤解を広め、運動はいっそう停滞してしまつたとのこと。「これで本当に

良いのか」「これではただの請負ではないか」と疑問を感じ、その後、役員さんと喧嘩する覚悟で、かんかん

がくがくの議論をしたり、「基本方針」や「全商連方針」「財政活動の一例」の前進のために」を教材に積極的に学習会を取り組み、同年の総会で「役員と事務局・会員が強固な団結を勝ち取り」「それぞれの英知と経験を結集して苦境を打開する」との新方針が打ち立てられたそうです。

「怖がって議論を避けてはダメ」ただしその先を見据えて議論することが大事と、今後の事務局活動に大変参考になる良い話を聞く事ができました。

今回の交流会の経験を生かし、これから頑張りたいと思います。

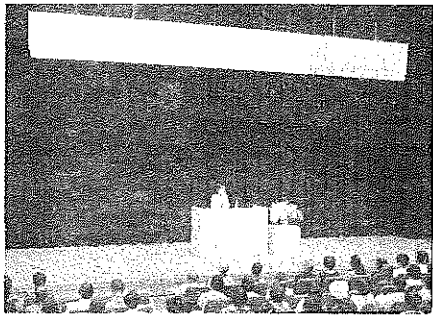
若槻 智美

初めての事務局員交流会、東日本ブロックの事務局員が集まるとあって、大きな会場に三七〇人以上がつどいました。想像以上に女性の事務局員が多かったので驚くと同時に、嬉しく思いました。

パネルディスカッションをはじめ、分散会、懇親会など交流するなかで、新潟県内はもちろん全国の仲間が、民商会員みなさんの営業や生活、生業を守るため、「会員主人公・役員中心」、「維持拡大」をかかげ、日々苦労や工夫、課題に悪戦苦闘しながら取り組んでいる様子を聞くことができ、大変勉強になりました。

事務局員になつて間もなく、勉強不足で知識も経験もありませんが、次回二年後の交流会では、新潟民商での奮闘を、胸を張って報告できるように頑張りたいと思いました。

第六二回 新潟県母親大会



七月三十一日(日)、ユニゾンプラザで県母親大会が開催されました。

森ゆうこ参議院議員のあいさつ

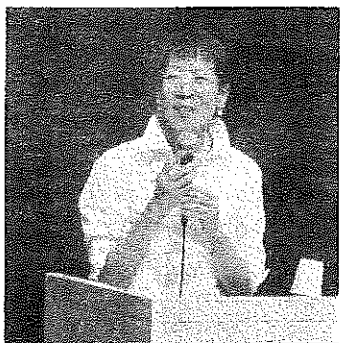
最後までドキドキの選挙戦。ママ達や、女性が多くかわつた選挙戦で、女性の笑顔に励まされた。安倍首相は、憲法審査

会での審議を加速していくと表明している。市民と野党の共同を一層強くし、平和憲法を守りぬいていきたい。

記念講演 『フクシマからの声』 後藤宣代さん

「二一世紀を生きるよろこび 働くよろこびへ」

はじめに三つの御礼。①母が“生命を生みだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます”のスローガンに魅せられ、母親大会にかかわってきた。呼んでいただいたことに感謝。



②福島市在住。三月から支援が打ち切られるが、避難者を受け入れ支援して下さる新潟県の皆様に感謝。③東電に「炉心溶解」隠ぺいを認めさせた、泉田知事に感謝。

福島現状。自ら命を絶つ人、子供の甲状腺がんも増えている。放射能を自主測定し、ママ達が子供を守るために学び、声をあげている。

二一世紀の働き方。しわ寄せは非正規と女性・若者に集中。企業は賃金の安い途上国へ、労働者は賃金の高い先進国へ。

「オキユパイ・ウォールストリート」運動等、アメリカの民主主義を取り戻す運動に、日本の若者が触発されている。(シールズのコールも)

フルート演奏

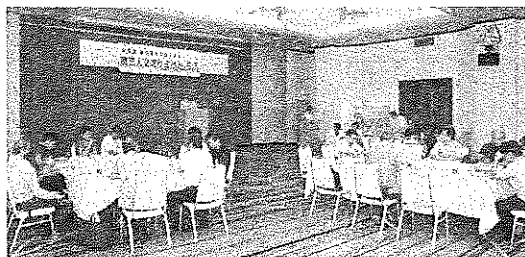
「浜辺の歌」「さとうきび畑の歌」「レ・ミゼラブル」「夏の最後のバラ」最後は皆で「青い空は」の大合唱となりました。



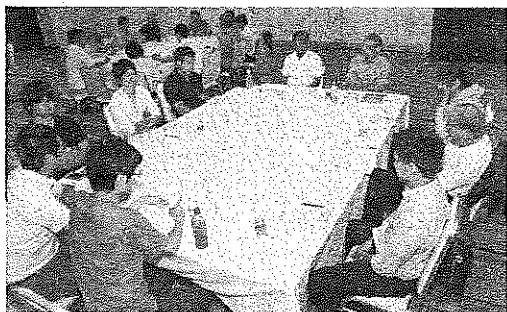
商売人交流サミットG7 開催

七月三十一日(日)、商売人交流サミットG7が東映ホテルで開催され、県内各地から二六名と東京からは全青協・下杉事務局長と商工新聞・滝沢記者が参加し、二八名の参加でした。

渡部県連会長のあいさつで開会されると、グループトークが開始され、自分の商売の内容や悩みを話しました。



渡部県連会長・開会あいさつ

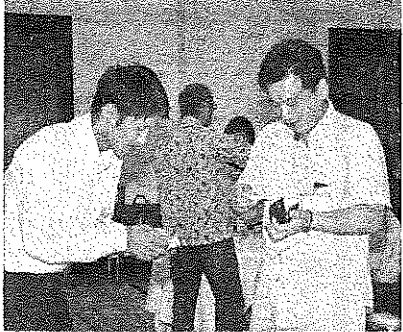


グループトークのようす

は従業員が育たない。自分は現場にはほとんど入らず、従業員自身に考えさせ、従業員が責任を持つようになっている。」などと、独自のやり方を紹介しました。

グループトーク後は懇親会が行われ、別のグループだった参加者同士も名刺交換などを行ない親睦を深めました。

また、会外からの参加もあり、「異業種と交流できることはあまりない。参加できて良かった。」との感想をいただきました。



懇親会・名刺交換のようす



参加者一同で記念撮影